



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月30日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 5334 URL https://www.ngkntk.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 尾堂 真一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长 (氏名) 寺下 和良 (TEL) 052(872)5918  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	106,931	9.3	19,037	18.0	19,931	16.5	13,754	23.4
30年3月期第1四半期	97,862	7.4	16,132	3.0	17,114	43.9	11,147	49.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 9,696百万円(△24.6%) 30年3月期第1四半期 12,866百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
31年3月期第1四半期	円 銭 65.97	円 銭 —
30年3月期第1四半期	円 銭 52.53	円 銭 —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	606,831	386,337	63.3
30年3月期	599,972	388,115	64.3

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 384,069百万円 30年3月期 385,661百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	214,000	7.8	34,500	6.2	36,000	3.6	25,200	12.4	121.22
通 期	436,000	6.4	72,000	7.0	75,000	8.5	52,500	18.4	252.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	208,911,620株	30年3月期	212,544,820株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	747,212株	30年3月期	2,655,888株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	208,505,118株	30年3月期1Q	212,224,051株

(注) 当社は、役員報酬 BIP 信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料 P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

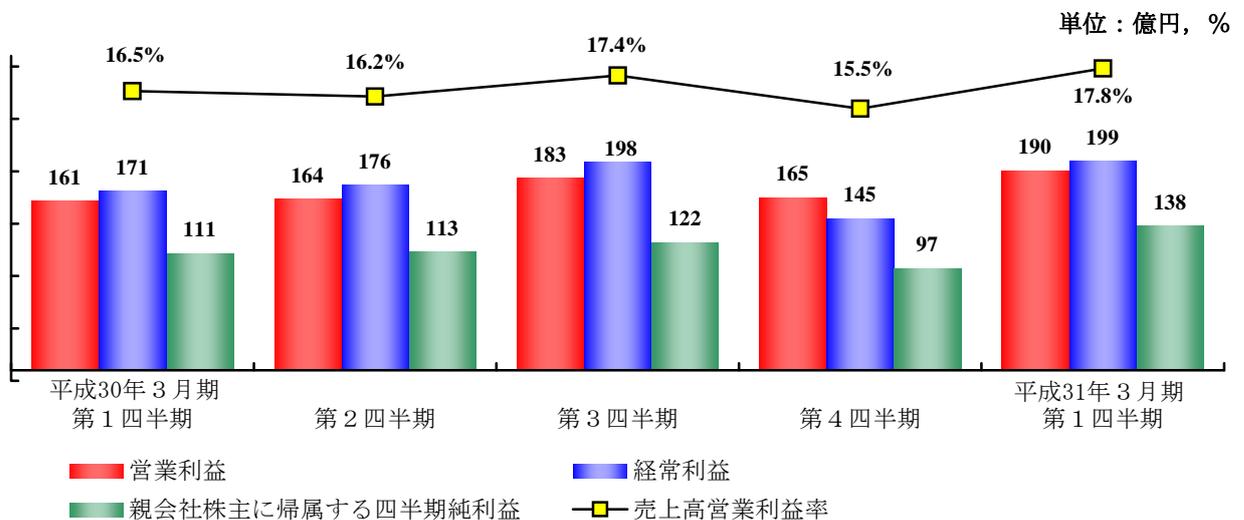
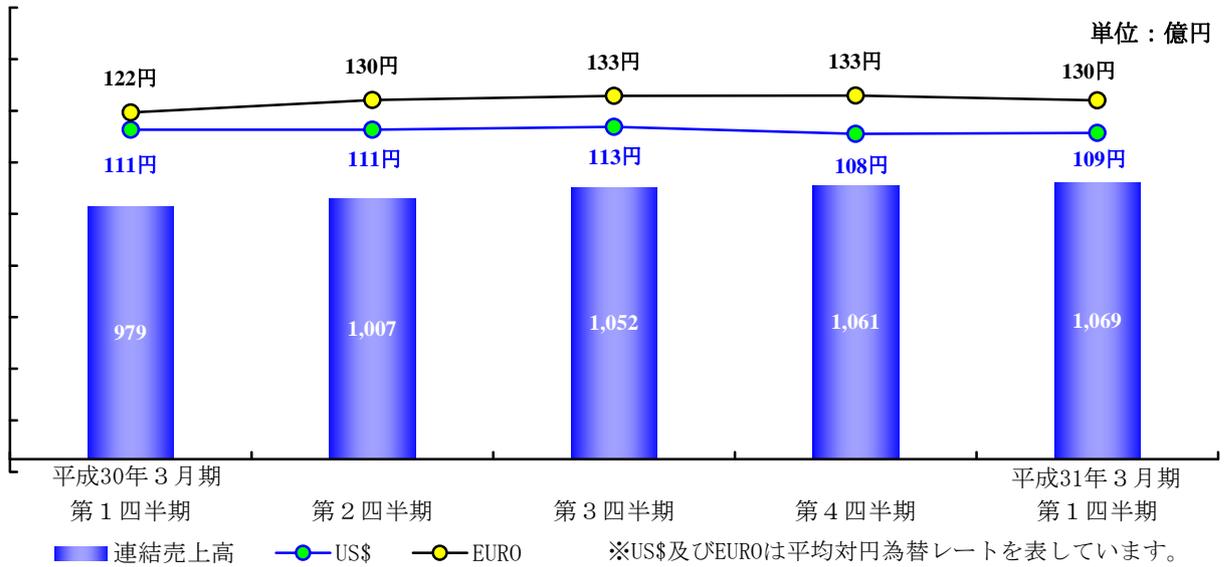
(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済は、米国においては企業収益、個人消費が成長の柱となっており、景気は底堅く推移しました。欧州においては製造業の景気は減速しているものの、雇用環境・個人消費の緩やかな改善が続いています。中国においては通商面からの景気下振れリスクはあるものの、全般的に内外の需要が堅調に推移しています。わが国経済においては企業の設備投資を背景に生産が緩やかに増加しており企業収益は堅調に推移、また、所得環境の改善・個人消費の持ち直しから景気の回復基調は維持しています。

当社グループの主要な事業基盤である自動車業界における新車販売は、日本においては前年度と比べ下回るものの、中国、米国とも前年度と比べ上回る結果となっています。

また、半導体業界においては、スマートフォン向けの需要増に加え、サーバ・データセンターを中心とするクラウドのインフラ向け需要が高い成長率で推移しており、またIoTやAIによる新たな需要増が生まれています。

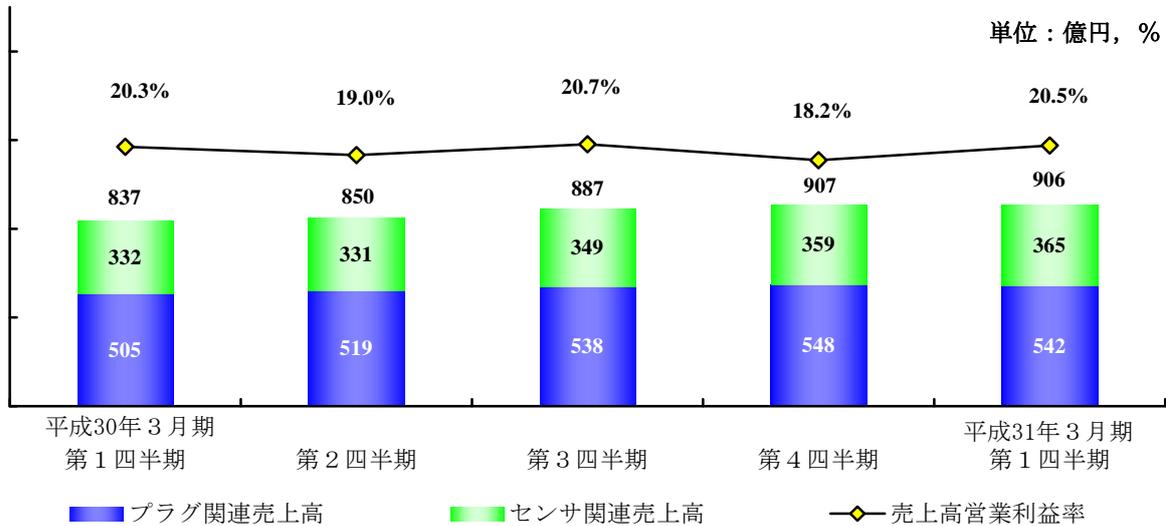
このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は1,069億31百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益190億37百万円(前年同期比18.0%増)、経常利益199億31百万円(前年同期比16.5%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は137億54百万円(前年同期比23.4%増)となりました。



## 〈自動車関連〉

当事業は、中国、米国、欧州を始めとした好調な新車販売を受け、当社販売も堅調に推移しました。また補修用製品の販売も中国市場、インド市場等での好調な販売を受け堅調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は906億44百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は185億66百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

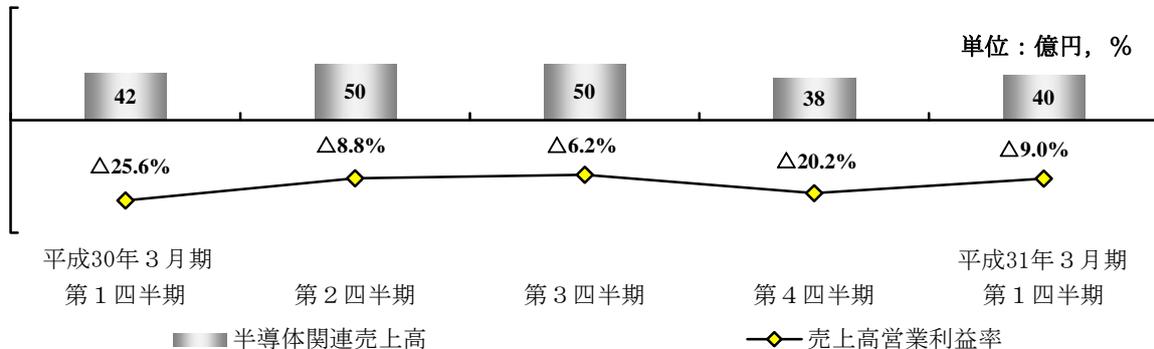


## 〈テクニカルセラミックス関連〉

## 半導体関連

当事業は、前年度に比べ減収となっていますが、人員削減等の合理化を推し進めていることから前年度に比べ赤字幅が縮小しました。

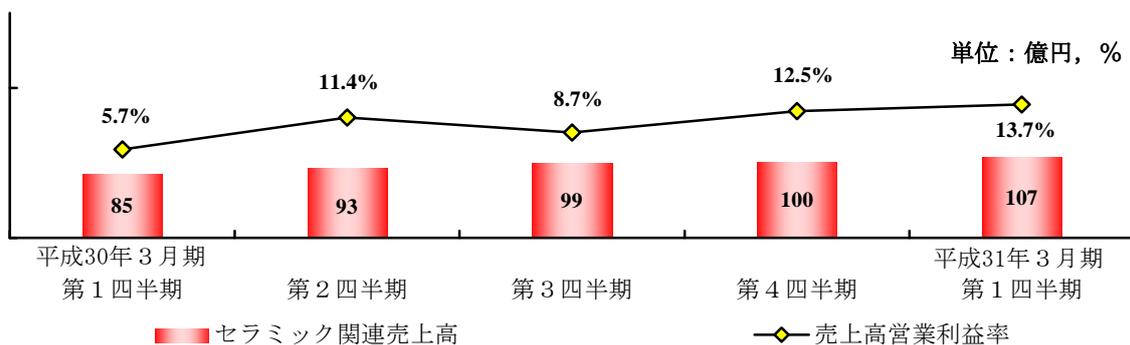
この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は39億75百万円（前年同期比4.3%減）、営業損失は3億58百万円（前年同期は10億64百万円の営業損失）となりました。



## セラミック関連

当事業は、半導体製造装置用部品及び工作機械向け出荷が好調なことから前年度に比べ増収、増益となっています。なお、当第1四半期より、従来、セラミック関連に含めていた環境エネルギー分野、医療分野等の新規事業を「その他」へ変更しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は107億42百万円（前年同期比26.6%増）、営業利益は14億70百万円（前年同期比203.0%増）となりました。



**(2) 財政状態に関する説明**

(資産、負債及び純資産の状況)

	流動資産	固定資産	総資産	負債	純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
31年3月期第1四半期	326,054	280,777	606,831	220,494	386,337
30年3月期	319,035	280,936	599,972	211,856	388,115

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末比68億59百万円増加の6,068億31百万円となりました。これは、主としてたな卸資産の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末比86億37百万円増加の2,204億94百万円となりました。これは、主として社債の発行によるものです。

純資産は、前連結会計年度末比17億78百万円減少の3,863億37百万円となりました。これは、主として自己株式の取得を実施したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
31年3月期第1四半期	949	△10,437	8,421	86,144
30年3月期第1四半期	11,594	△7,507	△4,653	66,134

営業活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比106億44百万円減少の9億49百万円となりました。これは、主として法人税等の支払額の増加及びたな卸資産の増加によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比29億29百万円増加の104億37百万円となりました。これは、主として資金運用のための有価証券の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、84億21百万円となりました(前年同期は46億53百万円の支出)。これは、主として社債の発行によるものです。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額1億67百万円を控除した純額で12億34百万円減少し、861億44百万円となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

平成30年4月27日に公表した業績予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	56,235	53,581
受取手形及び売掛金	93,615	94,951
有価証券	59,905	61,123
たな卸資産	94,953	101,852
その他	15,076	15,260
貸倒引当金	△751	△715
流動資産合計	319,035	326,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	63,410	62,701
機械装置及び運搬具(純額)	95,282	96,287
土地	21,279	21,215
建設仮勘定	11,027	13,162
その他(純額)	4,101	3,906
有形固定資産合計	195,102	197,274
無形固定資産		
のれん	307	268
ソフトウェア	4,567	4,744
その他	239	235
無形固定資産合計	5,114	5,248
投資その他の資産		
投資有価証券	71,680	70,050
繰延税金資産	7,672	6,795
その他	1,487	1,528
貸倒引当金	△119	△119
投資その他の資産合計	80,720	78,254
固定資産合計	280,936	280,777
資産合計	599,972	606,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	32,407	34,407
短期借入金	10,113	10,504
1年内償還予定の社債	25,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	9,962	9,962
リース債務	43	46
未払法人税等	13,040	6,178
その他	39,641	32,705
流動負債合計	130,208	118,804
固定負債		
社債	30,000	50,000
長期借入金	22,886	22,886
リース債務	111	115
退職給付に係る負債	27,443	27,467
株式給付引当金	92	159
繰延税金負債	169	148
その他	945	912
固定負債合計	81,648	101,689
負債合計	211,856	220,494
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,639	54,639
利益剰余金	278,374	276,171
自己株式	△6,422	△1,758
株主資本合計	374,461	376,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,211	29,654
為替換算調整勘定	△16,737	△19,387
退職給付に係る調整累計額	△3,273	△3,118
その他の包括利益累計額合計	11,200	7,147
非支配株主持分	2,454	2,267
純資産合計	388,115	386,337
負債純資産合計	599,972	606,831

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	97,862	106,931
売上原価	63,679	67,858
売上総利益	34,183	39,072
販売費及び一般管理費	18,051	20,035
営業利益	16,132	19,037
営業外収益		
受取利息	378	229
受取配当金	591	627
持分法による投資利益	110	121
為替差益	—	144
その他	311	322
営業外収益合計	1,392	1,444
営業外費用		
支払利息	116	135
為替差損	112	—
その他	181	415
営業外費用合計	410	550
経常利益	17,114	19,931
特別利益		
固定資産売却益	4	10
特別利益合計	4	10
特別損失		
固定資産処分損	435	290
投資有価証券評価損	—	1
特別損失合計	435	292
税金等調整前四半期純利益	16,683	19,649
法人税、住民税及び事業税	4,391	4,350
法人税等調整額	1,022	1,457
法人税等合計	5,413	5,808
四半期純利益	11,269	13,841
非支配株主に帰属する四半期純利益	122	86
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,147	13,754

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	11,269	13,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	△1,557
為替換算調整勘定	1,375	△2,710
退職給付に係る調整額	302	153
持分法適用会社に対する持分相当額	△130	△30
その他の包括利益合計	1,597	△4,145
四半期包括利益	12,866	9,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,698	9,701
非支配株主に係る四半期包括利益	168	△5

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,683	19,649
減価償却費	4,905	5,510
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	479	260
受取利息及び受取配当金	△970	△857
支払利息	116	135
持分法による投資損益(△は益)	△110	△121
固定資産処分損益(△は益)	431	279
売上債権の増減額(△は増加)	2,502	△1,276
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,174	△7,394
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,806	1,907
その他	△3,554	△7,492
小計	15,501	10,601
利息及び配当金の受取額	1,235	882
利息の支払額	△110	△131
法人税等の支払額	△5,032	△10,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,594	949
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△327	29
有価証券の純増減額(△は増加)	3,901	△2,517
有形固定資産の取得による支出	△10,632	△8,836
無形固定資産の取得による支出	△341	△570
投資有価証券の取得による支出	△231	△605
投資有価証券の売却及び償還による収入	8	2,000
その他	116	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,507	△10,437
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△28	△16
社債の発行による収入	—	19,892
自己株式の取得による支出	△0	△5,000
配当金の支払額	△4,422	△6,264
その他	△202	△189
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,653	8,421
現金及び現金同等物に係る換算差額	880	△167
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	314	△1,234
現金及び現金同等物の期首残高	65,817	87,378
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,134	86,144

**(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項**  
**(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

**(追加情報)**

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

**(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)**

当社は、平成30年2月26日開催の取締役会決議に基づき、平成30年4月1日から平成30年5月30日までの期間において1,732,400株の自己株式を取得しました。これにより、自己株式が4,999百万円増加しました。また、同取締役会決議に基づき、平成30年6月8日付で3,633,200株の自己株式を消却しました。これにより、自己株式及び利益剰余金がそれぞれ9,647百万円減少しました。これらの結果、当第1四半期連結会計期間末残高は、利益剰余金が276,171百万円、自己株式が1,758百万円となりました。

**(四半期連結貸借対照表に関する注記)**

当社グループは、自動車関連事業における過去の一部の取引において競争法違反の疑いがあるとして海外の当局による調査を受けています。これに関連し、顧客からの損害賠償の交渉、民事訴訟も提起されています。今後、新たな事実が判明した場合は追加の損失が発生する可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響を合理的に見積もることは困難です。

**(セグメント情報)**

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 関連	テクニカル 半導体	セラミック	セラミック 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	83,726	4,151	8,484	12,636	96,363	1,499	97,862	-	97,862
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	83,726	4,151	8,484	12,636	96,363	1,499	97,862	-	97,862
セグメント利益 又は損失(△)	17,025	△1,064	485	△579	16,445	△313	16,132	-	16,132

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境エネルギー分野・医療分野等の新規事業、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連	技術的セラミックス 半導体	セラミック	関連 計					
売上高									
外部顧客への売上高	90,644	3,975	10,742	14,717	105,361	1,569	106,931	-	106,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	90,644	3,975	10,742	14,717	105,361	1,569	106,931	-	106,931
セグメント利益 又は損失(△)	18,566	△358	1,470	1,111	19,677	△640	19,037	-	19,037

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境エネルギー分野・医療分野等の新規事業、材料売上及び福利厚生サービス業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成30年4月より、従来、技術的セラミックス関連事業のセラミック関連に含めていた環境エネルギー分野、医療分野等の新規事業につきましてはセグメント管理区分を見直し、「その他」へ変更しました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。